

Get Heart



人物紹介

アマチュアビデオ映像作家

浦木 誠一さん

学校紹介

「環境学習を通じて地域と

川の大切さを学ぶ」

溝口小学校

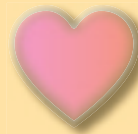
日野川「もの知りさんに聞いてみよう 18」

円山川での豪雨が日野川で起こったら



イベントあんない

INFORMATION



江府町

「西日本烏ヶ山スラローム大会」

- からすがせん -

平成17年3月13日(日)

奥大山スキー場

問い合わせ先.....江府町役場産業振興課

TEL 0859 - 75 - 3222

伯耆町

「彼岸市」

平成17年3月20日(日)

問い合わせ先.....溝口町商工会

TEL 0859 - 62 - 1184

日吉津村

「第27回 日吉津村チューリップマラソン」

平成17年4月17日(日)

問い合わせ先.....日吉津村チューリップマラソン大会事務局

TEL 0859 - 27 - 0606

米子市

「米子桜まつり」

平成17年4月1日(金)~12日(火)

湊山公園(米子市西町)

問い合わせ先.....米子市観光協会

TEL 0859 - 37 - 2311

「米子桜ウォーク」

平成17年4月2日(日)予定

米子城址周辺

問い合わせ先.....米子市観光協会

TEL 0859 - 37 - 2311

南部町

「一式かざり」

平成17年4月9日(土)・10日(日)

問い合わせ先.....南部町役場産業課

TEL 0859 - 64 - 3783

Get heart プレゼントクイズ

問題：〇〇には何が入るでしょうか？

〆切 4月10日

溝口小学校の子ども達は〇〇橋周辺で清掃活動をしました。ヒント：溝口には鬼の橋として有名な「鬼守橋」があります。

プレゼントをご希望の方は、官製ハガキに、クイズの答え、住所・氏名・年令・電話番号、Get heartに関するご感想を記入の上、下記までご応募下さい。抽選にて、5名様に粗品をさしあげます。

当選者の発表は、発送を持ってかえさせていただきます。

〒689-3537 米子市古豊千 678

国土交通省 日野川河川事務所 ゲットハート クイズ係

編集後記

ゲットハートも今回で節目の30号を迎えることが出来ました。これからも日野川の魅力をたくさん紹介できたらと思っています。そして、少しでも日野川を身近に感じていただけたらと思います。編集部一同、皆様に愛される情報誌となるよう頑張っていきます。今後ともよろしくお願ひいたします。

R.K

あなたのこころを

GET HEART

GET HEART 第30号

発行

・日野川への想いを語る会

編集事務局

・国土交通省日野川河川事務所

〒689 - 3537

米子市古豊千 678

TEL (0859) 27 - 5484

ホームページアドレス <http://www.cgr.mlit.go.jp/hinogawa>

「川」について、意見、質問、要望、何でもええけ、便りごしない。待ちちょうけんね。



日野川流域の温泉紹介

日野川の流域には、色々な温泉地がありますが、今回は、その代表的な所をご紹介します。

まだまだ寒い日が続きます。休日には、温泉につかってゆっくりとすごしたいものですね。

日吉津温泉 (日吉津村)

日野川をへだてて皆生温泉の対岸に湧き出る日吉津温泉は、日本海、大山の

眺望を楽しみながら、のんびりできる温泉つき宿泊施設うなばら荘にて楽しめます。温泉はリウマチ、運動機能障害、更年期障害ほかに効能のある食塩泉です。

お問い合わせ先 うなばら荘 TEL 0859-27-2018

ホームページ <http://www6.ocn.ne.jp/~una-bara/>



皆生温泉(米子市)

皆生温泉は鳥取県の西の端、米子市に位置し、日本海に面した海辺の温泉郷です。1900年、漁師が海中に湧き出す温泉を発見したのが始まりで、温泉地として

開発されたのはさらに20年後のことです。旅館街は、白砂青松の海岸沿いに東西1キロ、南北0.4キロの範囲にあり、観光旅館、公共の宿など40軒、5,000人の収容力を誇る山陰では最大の温泉地です。夏は海水浴が楽しめるほか、国内トライアスロン発祥の地としても広く知られています。

お問い合わせ先 皆生温泉旅館組合 TEL 0859-34-2888

ホームページ <http://www.kaike-onsen.com/>



岸本温泉(伯耆町)

大 山に降り注いだ雨や雪が長い年月をかけて地中深くで温められ湧き出てきた岸本温泉。地下

1150mから汲み上げるアルカリ性単純泉は、神経痛、リュウマチ、関節痛、疲労回復、健康増進によく、施設では山陰初の冷凍サウナをはじめ、トレーニングルームや食事の施設も整っています。

お問い合わせ先 岸本温泉 ゆうあいバル TEL 0859-68-5526

ホームページ <http://www.houki-town.jp/kanko/index.html>

(伯耆町役場)



日野川の生きものたち③

鳥



オシドリ(鴛)

鳥取県の鳥として知られるオシドリは、オスとメス一緒にツガイでいることが多く、オシドリ夫婦の名の由来となっています。オスは繁殖期に大きな銀杏羽をもち、とても美しいですが、メスは地味な灰褐色です。日野川流域では、日野町がオシドリの町として親しまれ、毎年多くのオシドリが飛来しています。

魚



ヤマメ(山女)

ヤマメは、サケやマスの中なかまで一生を淡水域で生活しているものが大半です。大きなものは30～40cmにもなります。大きくなっても体の模様は消えません。海に下り、大きなマスに成長して川に戻ってきたものをサクラマスといいます。

川に親しむ

アマチュアビデオ映像作家

うらき せいいち
浦木 誠一 さん



浦木 誠一さん

山 歩きとビデオ撮影が趣味という浦木さんが日野川に興味を抱いたのは、平成13年のこと。日南町が主催した日野川の源流の碑を探訪するウォーキングイベントに参加してからだったそうです。

「うっそうとした森林が長く続くど 早く抜け出したい」という気分になるんです。森を抜けて、川に出たときの開放感はとても気持ちの良いものです。でも日野川の源流を歩いてみて改めて、荒廃したブナ林を目にしたんですね。森や山ばかりではなく、その基となる川も大切にしなければ。山と森、川と海とがみんな切り離せないものだ、とそのときに感じました」と当時の思いを振り返ります。

浦木さんは以前から、中国地方では31もの山を歩き、日南町にもこれまで山を歩いたりスキーに行ったりして山と森に対する思いは強かったのですが、改めて日野川の大切さに気づいたときに「日野川のことを知らない」と感じられたそうです。そこで当時、地域住民と行政、企業で発足した「日野川の源流と流域を守る会」に参加。「自分自身が勉強していくために」と、日野川や会の活動をビデオに収めていったのでした。そして平成14年には「まずは百聞は一見にしかず」とばかりに、夫人や友人らと一緒に日野川の源流から河口まで約80kmを三日間かけて歩き、その模様をビデオに撮影していました。さらに翌年には逆に河口から源流までを歩いて撮影しました。



日野川源流域の写真

完成した作品には日野川の風景とともに、流域に住む様々な人々のインタビューの様子が収められています。浦木さん「ゆっくり歩いていると、いろいろな人と出会えます。源流から河口とでは川沿いの景色も季節感も違ってきます。地域による変化が感じられて楽しいですね」と、撮影の醍醐味を語っています。

撮影した映像は、浦木さん自身がパソコンを使って編集し、タイトルや字幕、音楽、ナレーション等を入れてひとつの映像作品としてまとめ上げています。特にナレーションは、「映像に自分の「想い」を入れていく面白さがあります」ということから、撮影した中で感じたことを浦木さん自身が文章にまとめ、読み上げています。

例えば、平成14年に鳥取県東伯町（現・琴浦町）で開催された「第17回国民文化祭ふるさと映像祭」に出品した作品「ふるさとの川 日野川」では、「未来へ引き継ぐ大切な贈り物『日野川』の清流を守る行動を一緒に始めましょう。純真な子供たちの笑顔を想いながら…」という、浦木さんからのメッセージで締めくくられています。

これらの映像作品や活動に対して、平成15年には米子市の第13回文化奨励賞と、中海テレビ放送の第7回パブリックアクセスチャンネル大賞を受賞しています。

浦木さんは出来上がった作品を地元ケーブルテレビ局に投稿しており、放送を視聴した人からの評判も上々。「作品を見た人が日野川のことを想い、川を大切にしくちやいけな、物を捨てちやいけな、と一人でも二人でも考えてくれればいい。千のメッセージを集めて万の人に伝えたい。森から海へと伝えたいですね」と想いを語っています。



水のうおっちゃんぐ

- 表紙「早春譜(そうしゅんぷ)」 -

大山の残雪と日野川の清流が和し快適な風景です。

第7回 日野川フォトコンテスト入賞作品 一般Aの部 佳作 野坂 正昭さん
撮影場所: 江府町荒田

日野川流域 ものしり手帳

日野川、 もの知りさんに聞いてみよう・18

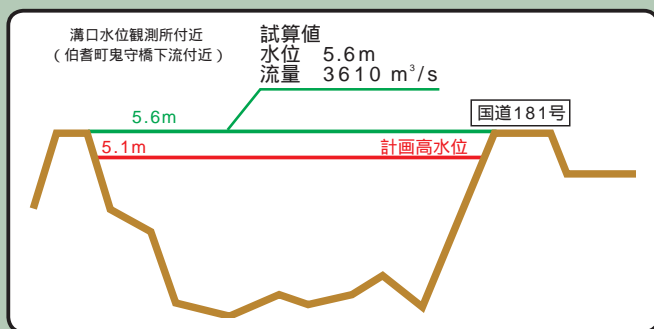
円山川流域の豪雨シミュレーション結果

～平成16年10月の台風23号において、円山川流域(兵庫県北部)で発生した豪雨が日野川で起こったら～

平成16年は、新潟・福島豪雨、福井豪雨に始まり、次々に上陸する台風が10個と史上最高を記録し、大規模水害が全国で多発し、国民の尊い生命や貴重な財産が脅かされました。

とりわけ、台風23号では、隣県の兵庫県北部、豊岡市において、円山川の堤防が決壊し、市街地などの浸水により多大な被害を受けるとともに長期の避難生活を余儀なくされました。台風進路が少しずれていれば、同じ日本海側の地形を呈している鳥取県において、同様の事象が起きていた可能性は十分に考えられるところです。

このため、日野川流域で円山川流域と同程度の雨が降ったと想定(円山川流域 約1,300km²)の観測所雨量を日野川流域(約870km²)にあてはめし、洪水の試算を行いました。



溝口水位観測所付近では、洪水が、堤防いっぱいには流れる結果となり、上下流の堤防が低い所では川の水が民地側に流れ込んだと推定されます。常日頃から風水害への備えが必要であることは申すまでもありません。(なお、この結果は、速報値データを基に試算したものであり、今後の調査により数値が変わることがあります。)



平成10年10月の近年最大の出水(伯耆町溝口)

～災害情報普及支援室を設置しました。～

鳥取県・各市町村への支援体制を強化するため、日野川河川事務所に「災害情報普及支援室」を平成17年1月27日に設置しました。

目的

今次発生した水害にかんがみ、鳥取県・市町村における住民への洪水情報等の提供の充実を図るため、鳥取県・市町村からの求めに応じて、直轄事業で長年培ってきた知見・技術等を積極的に提供することとし、次の支援を行います。

ハザードマップの作成に関する市町村への技術支援を行います。

事務所管理区間に関する時系列氾濫シミュレーション結果を提供します。

災害情報協議会(仮称)を、今後4月を目途に設置する予定です。

その他、災害情報に関する普及・啓発活動等を行います。

災害情報普及支援室

日野川河川事務所の技術の副所長を室長として、調査設計課内の担当職員をスタッフとします。

川で学ぼう

～川とふれあう学習～

「環境学習を通じて 地域と川の大切さを学ぶ」

溝口小学校

溝口小学校では「環境のために自分たちで出来ることは何か」という視点からの「環境教育」を、学習の中に積極的に取り入れているそうです。例えば「家庭排水で、汚い水を川や海に流さないようにするにはどうすればよいか」等の課題について、様々な資料を見ながら考えたり、伯耆町内にあるリサイクルプラザやごみ焼却場の見学などを通じて学んでいます。

その一環として、国土交通省日野川河川事務所が毎年7月の夏休み期間中に実施している水生物調査に溝口小学校も参加し、「日野川には現在、どんな生物がすんでいて、どんな様子でくらししているのか」を学んでいるそうです。



清掃作業の様子



伯耆町立 溝口小学校

明治6年に開校した谷川小学校(第56番小学校)を前身として、同10年に開校した歴史のある小学校です。児童数は平成16年5月現在で168名です。校訓に「元気に明るく」を、めざす児童像に「考える子ども」「助け合う子ども」「たかましい子ども」をそれぞれ掲げて教育が行われています。

のほかに、少年野球チームに参加している児童とその保護者を中心とした有志が、溝口警察署からの呼びかけで、日野川にかかる「鬼守橋(きもりばし)の周辺での清掃活動に参加しているなど、学校だけでなく地域を上げて、環境のための活動に積極的です。その様子は、地元ケーブルテレビでも放送され、家族そろって日野川の中でごみを拾う姿が町民に対して紹介されています。

溝口小学校では、「日野川は、私たちの暮らしに身近な地域の川。環境に関する学習と川をきれいにする活動とを通じて、子どもたちに川と自然の大切さを感じてもらえと思う」と、その趣旨を説明しています。